

ココタウンデイサービス

症 例 概 要 利用者氏名：O様（80代・男性・要介護1）
利用期間：令和2年3月～令和2年7月(利用中)
既往歴：H2年A型肝炎、H24年脊椎管狭窄症 認知症

経過：認知症に伴う家族様の介護負担や入浴拒否が続いていたことからデイサービス利用を開始。利用当時みられたデイサービス内での混乱や入浴拒否、背部の皮膚トラブルがみられていたが、デイサービスでの活動を通して改善されたため報告します。

内 容

今年2月、認知症に伴うご家族の介護負担や入浴拒否が続いているとのことで、デイサービスの利用を検討しご利用の運びとなりました。具体的には認知症の特徴でもある物忘れやそれに伴う、度重なるご家族での言い争いがあり、特に入浴については2ヶ月ほど入れていないとのことでデイサービスでは必ずお風呂に入れてもらいたいと奥様より強い希望がありました。

後日、ご利用が開始となりますが初めてのデイサービスということもあり、落ち着かない様子で椅子からの立ち上がりや帰宅願望、徘徊もみられ、またお風呂については、「私は入らないと決めている」と険しい表情で訴えられ、特に女性職員に対しての拒否が強く、男性職員に代わると何とか入浴して頂ける状況が続きました。

入浴の全身観察では長期間入浴をされていないこともあり、背部や腰部、臀部全体にかけてかゆみを伴う、多くの発赤や掻き壊しがみられ、治療には定期的な入浴による清潔の保持と看護師による継続的な皮膚状態の観察、処置が必要不可欠な状態でした。

まずは、ご本人に安心できる環境であること、心地よい入浴であると思ってもらえることが大切であるため、奥様から伺った趣味の囲碁をお誘いすることにしました。囲碁の時間はとても有意義な時間であったご様子で、それをきっかけにレクリエーションの活動にも今までみることができなかった笑顔が徐々に見えるようになってきました。入浴については、3ヶ月を過ぎた頃には女性職員の声掛けにも快く応じて頂けるようになり、現在では皮膚状態も改善され綺麗な状態となりました。

現在では、帰宅願望や徘徊もなくなり素敵な笑顔で他の利用者さんと冗談を交わしながら談笑されているご本人の姿がみえるようになりました。今後も更に楽しく安心できるデイサービス提供できるよう取り組んで行きたいと思えます。